

## ISO14001定期審査の具体的なスケジュール決定



昨年度、更新審査の様子

ISO14001 審査は、毎年受審することとなっております。今年度は定期審査の受審年です。このISO14001 定期審査の具体的なスケジュールが決定しましたので、お知らせいたします。

出雲キャンパスでは、9月25日（水）から9月27日（金）の2.5日間が受審期間となっております。2名の審査員による審査が行われます。

下の表はそれぞれの審査該当部署及び審査時間です。該当している部署の教職員、学生の皆さまには、対応方よろしくお願いたします。

日時	チーム1	チーム2
9月25日 (水)	附属病院EMS対応委員会	医学部EMS対応委員会
	環境教育・研究作業部会	実験系作業部会
	環境管理責任者インタビュー (EMS事務局, 内部監査責任者)	
9月26日 (木)	施設管理1(廃棄物, RI施設, P CB管理)	施設管理1(エネルギー, 水)
	診療系作業部会	生活系作業部会 キャンパスアメニティー作業部会
	附属病院1(検査部等)	医学部1(薬理学, 内科学第二)
	附属病院2(4階A・B病棟)	医学部2(看護学科)
9月27日 (金)	附属病院3(8階C病棟)	医学部3(精神医学, 眼科学)
	大学代表者報告会議 最終会議	

### 目次

ISO14001定期審査の具体的なスケジュール決定

1ページ

廃棄試薬の回収

内部監査研修の実施について

2ページ

エネルギー作業部会からの

お知らせ

運用管理点検の実施

3ページ

出雲キャンパスEMS実施委員会  
医学部及び附属病院  
EMS対応委員会

# 廃棄試薬の回収を行いました。

8月8日（木）に各教室で不用となっている試薬の一斉回収を行いました。

これは基礎研究棟の改修工事にあわせて、化学物質管理システムを利用している部署へ、古くなって使わなくなった試薬、前任者が残っていた使用することがない試薬など廃棄希望試薬調査を行い、実験系作業部会員、施設課職員の協力のもと学外業者へ廃棄しました。

32部署34教室から出た廃棄試薬本数は、1586本にも及び、部署内での試薬管理もすっきりしたと思われます。この廃棄に際して当初よりご協力をいただきました皆様方、大変ありがとうございました。



# 内部監査員研修を実施しました

8月26日（月）、27日（火）に株式会社テクノファから講師をお招きして、内部監査員研修を実施しました。

この研修には5名の教職員と1名の学生が参加し、ISO14001規格要求事項などの説明から事例を基にチームで監査し合うケーススタディなど、内容の濃い研修でした。最終日には理解度テストも実施され、力量を得ることができました。

皆さんには今年度の内部監査から監査員として参加していただく予定です。





# エネルギー作業部会からのお知らせ

出雲キャンパスでは、3月末に病院再開発に伴う改修工事の完了、また7月末には新たに「みらい棟」が完成したことにより、8月からのエネルギー使用量は昨年度と比較して大幅に増加することが予想されます。電力については中国電力との契約電力量を現在の2,340kwから2,600kwへと変更することとなりました。建物面積及び設備機器等の増加により、電力に限らず他のエネルギー消費量も増加するものと思われます。

エネルギー作業部会では今夏の節電対策の一環として、昨年度と同様に7～9月の毎週金曜日に行われる労働安全の職場巡視に同行し、学部の建物を対象に冷房の設定温度・無駄な照明の有無を確認するための節電パトロールを行っております。昨年度の調査では個別空調設備のある部屋のエアコン設定温度が目標値の28℃であった部屋は、全体のわずか10%程度と大変に低い数値でした。個々の環境への配慮、節電等の意識が未だ薄いと感じられました。

例年、皆様方には日頃より節電等の省エネルギー活動にご協力いただいているところですが、教育・研究に支障をきたさない範囲で更なる節電にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



節電パトロール実施写真(職場巡視)



施設課職員による節電パトロール風景

## 7月期運用管理点検実施しました。

EMS推進員の皆様にご協力いただき、7月期の運用管理点検を実施していただきました。

回答率は医学部：39/55 部署 (70.9%)，附属病院：30/41 部署 (73.2%) でした。

点検し、運用が実施できていなかった部署におかれましては、改善していただきますよう、宜しくお願い致します。

部署内での工夫した取り組みを実施している部署が多々ありましたので、一部ご紹介します。

☆免疫学講座での薬品管理方法です☆

各種法令が適用されている試薬瓶にはそれぞれの法令ごとに色分けしたシールを貼り、誰でもすぐにどの化学物質がどの法令に該当して、使用量や廃液を管理しているのかが分かるようにされています(図1) また、受払簿を使用頻度や種類で区別し実験室に設置されています。(図2) 帳簿への記帳をもとに毒劇物保管責任者がシステムへの入力をされているそうです。

是非、参考にされてはいかがでしょうか。

図1

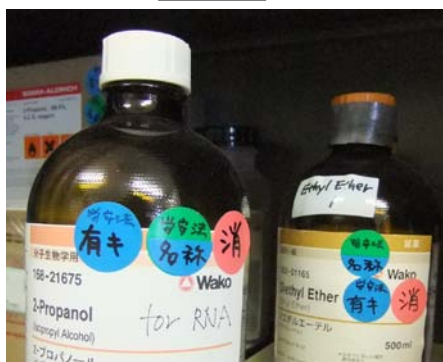


図2



みんなで取り組もう!省エネ生活

地球温暖化による気候の変化は様々な弊害をもたらし、  
氷河がとけて海面が上昇し、多くの土地が海に沈んでしまいます



節電

save electricity



いる電気  
いらぬ電気  
考えよう

すてき!  
省エネ〜ぜ!

エアコンの温度は  
ひかえめにね!

みんなで地球温暖化を防止しましょう。  
ご協力をお願いします。

## EMS事務局からのお知らせ

EMS事務局では、みなさんから**省エネのアイデアを募集**しております。

我が家での成功例など大学での省エネに有効なものがありましたら以下のEMS事務局までお寄せいただきたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

学内関係者用には、EMS関係会議の議事録、EMS研修の資料、環境に関する諸規則・マニュアル等が参照できますのでご利用ください。

その他、EMSに関するご意見等ございましたら、以下の連絡先又はホームページ「キャンパス環境投書箱」へお寄せください。

- 島根大学出雲キャンパス EMS 事務局  
財務部施設企画課(出雲)環境マネジメント担当  
TEL 0853-20-2549  
FAX 0853-20-2049  
E-Mail fpd-ikankyo@office.shimane-u.ac.jp

- 島根大学ホームページ「環境マネジメントシステム」  
出雲キャンパスでのEMS活動内  
キャンパス環境投書箱

URL: <http://www.shimane-u.ac.jp/ems/>

